

EA21 環境活動レポート

2019年度版

《2019年2月～2020年1月》



株式会社 石崎製作所

発行日：2019年2月25日

作成：野上英明



株式
会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

I 事業活動の概要

事業所名： 株式会社 石崎製作所

代表取締役： 石崎 一徳

所在地： 本社
東京都台東区今戸1丁目5番19号
TEL03-3871-1861 FAX03-3874-8620

環境事務局： 野上 英明

連絡先： TEL:03-3871-1861 FAX:03-3874-8620
e-mail:nogami@ishizaki-ss.com

事業概要： 金属・加工金属製品等製造業

事業規模： 資本金 1,000万円

社員数 34名

事業所数：2カ所

本社
東京都台東区今戸1丁目5番19号
TEL03-3871-1861 FAX03-3874-8620

茨城工場
茨城県小美玉市部室1199-12
TEL0299-48-0273 FAX0299-48-0388

対象範囲：全組織、全事業所



株式会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

株式会社石崎製作所 環境経営組織図

作成日：2019年4月5日

代 表 者
石 崎 一 徳

環 境 事 務 局
野 上 英 明

本 社

茨 城 工 場

電力使用量削減

前川学

軽油使用量削減

高田政行

廃棄物削減

根本憲一

化学物質使用量削減

小川孝子

代表者：	基本方針の策定、見直し及び全従業員への周知
	環境管理責任者の任命
	代表者による全体の取り組みの評価と見直し
	環境活動レポートの承認
環境事務局：	EA21の統括、代表者への報告。EA21環境会議実施、環境活動レポートの作成
	環境管理責任者の補助。EA21の維持、管理、データ集計。
電力使用量削減担当者：	削減の為の方法の検討。
軽油使用量削減担当者：	軽油使用量の集計、報告。削減の為の方法の検討。
廃棄物削減担当者：	削減の為の方法の検討。
化学物質使用削減担当者：	化学物質使用量の集計、報告。削減の為の方法の検討。



株式会社 石 崎 製 作 所

東京都台東区今戸1-5-19

tel: 03-3871-1861

fax: 03-3874-8620



Ⅱ 環境保全方針

環境保全方針

《 基本理念 》

(株)石崎製作所は事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を考え、環境にやさしい製品作りに重点を置き、得意先様ひいては社会に貢献することを目標とし、環境保全に努めるものとする。

《 基本方針 》

1. 次の環境保全の重要項目に対して環境目標を設定し取組み、必要があれば見直しを行います。

- ① 二酸化炭素排出量削減(電力、燃料消費の削減)
- ② 廃棄物の排出抑制と適正処理(一般廃棄物及び産業廃棄物排出量の削減)
- ③ 化学物質使用量の削減
- ④ 水使用量の削減
- ⑤ 環境に配慮された製品の製造
- ⑥ 社員の技術力向上と5S活動による社員の意識改善

2、環境関連の法規則、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3、この環境保全方針を全従業員に周知し環境教育活動を推進します。

2019年4月5日

株式会社 石崎製作所
代表取締役 石崎一徳



株式会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

Ⅲ 環境目標と実績

① 目標達成状況

※基準年は2018年2月～2019年1月

《 全 社 》

取り組み項目	基準年(2018年度実績)	2019年度目標	2019年度実績
CO2排出量削減 ①+② (CO2) (kg-CO2)	48,276	47,793	47,719

《 本 社 》

取り組み項目	基準年(2018年度実績)	2019年度目標	2019年度実績
ガソリン燃費向上(km/ℓ)	14.0	14.1	14.0

《 茨城工場 》

取り組み項目	基準年(2018年度実績)	2019年度目標	2019年度実績
電力消費量の削減(kWh)	74,922	74,173	78,505
軽油燃費の向上(km/ℓ)	9.2	9.3	9.1
一般廃棄物の削減(40ℓ袋)	1,940	1,920	1,700
水使用量削減(m ³)	268	265	293
化学物質使用量の削減(kg)	275	273	200

② 中・長期目標

※基準年は2019年2月～2020年1月

取り組み項目	2019年度(基準年度)	2020年度目標	2021年度目標	2022年度目標
CO2排出量削減 ①+② (CO2) (kg-CO2)	47,719	維持	維持	維持
①電力消費量の削減(kWh) (CO2) (kg-CO2)	78,505 34,307	維持	維持	維持
②化石燃料使用量の削減(ℓ) (CO2) (kg-CO2)	611,000 47,718	5%減	5%減	5%減
水使用量の削減(m ³)	293	維持	維持	維持
一般廃棄物の削減 (40ℓ/袋)	1,700	1%減	2%減	3%減
化学物質使用量の管理	—	管理	管理	管理
環境配慮製品の提案(件)	1件	1件	1件	1件

※排出係数は0.407Kg-CO2/kwh

※環境目標、活動計画経営環境の変化に応じて随時改定可能とする



IV 主要な環境活動計画の内容

- ①電力使用量削減
 - デマンドシステムを利用した電力の見える化
 - 事務所・現場等の昼休み時間の消灯
 - 空調設備を定期的に清掃・点検する
 - 空調設備の過剰使用をさけ適切な温度を保つ
 - 昼休み時、事務所の空調を切る
 - トイレ不使用時の電気の消し忘れ撲滅
 - 作業を離れる際は電気設備のON・OFFをこまめに行う。

- ②ガソリン・軽油使用量の削減
 - 燃料給油・走行距離数のチェック表を作成・記入する
 - 急発進急加速の禁止を遂行する
 - オイル交換等、定期的な車両の整備を行う
 - 効率的な配送ルートを計画・実行する
 - 空気圧のチェック

- ③一般廃棄物の削減
 - ミスプリント等の裏面利用
 - ごみの持ち帰り推進

- ④水使用量の削減
 - 小まめな開閉(流しっぱなしにしない)
 - 節水の啓蒙活動

- ⑤化学物質使用量の削減
 - プレスオイルの変更(揮発性の高いオイルへの変更)
 - トリクレンから別の洗浄剤に変更する

- ⑥環境配慮製品
 - クロムフリー材への切替提案



株式
会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

V 環境活動の取組結果の評価・次回取組内容

- ① 電気使用量については売上が昨年比で107.9%とUPL、社内加工の比率が増えてプレス機の稼働時間が増えたため電気の使用量が増加したと思う。
また、夏の暑さが影響してスポットクーラーの使用量頻度も増加したと考えられる。
次年度は現在の取組みを継続する。
- ② ガソリン、軽油の使用量については数年前から燃費向上の取組みをしてきました。
営業車の車種変更により2019年度はデータ取りをしましたがベストな燃費で燃費向上には至りませんでした。しかし営業方針を変更して営業車ででの外出を減らしたこともあり、ガソリンの使用量は大幅削減できました。
自年度は営業車をハイブリットに変えるのでデータ取りを行います。
- ③ 一般廃棄物削減についてはゴミ袋の使用量を削減することができた。
要因は社内にウォーターサーバーを設置して飲料水の確保をしたことです。
ペットボトルの購入、持ち込みが減少した結果だと思えます。
また、仕入部材の過剰梱包(養生)は少しずつですがメーカーサイドも協力してくれて少なくなってきました。
次年度はゴミ袋の使用量を1%削減します。
- ④ 水使用量については昨年から109.3%UPと増加してしまいました。
周知が弱かった面もありますが、今後バレル作業を内製化する計画があり使用量がさらに増加しますので不必要な水使用量を減らしていきます。
- ⑤ 化学物質使用量削減については2019年6月のトリクレン購入を最後に新規洗浄剤に変更することが出来ました。2020年度はゼロで推進できます。
新規洗浄剤のスワクリーンは『乾き』の点で課題が残るので改善します。
- ⑥ 本年度もクロムフリー材の提案ができました。営業のスポット案件での提案ですので新規量産品の立ち上げの時はさらに提案していきます。



株式
会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

VI 環境関連法等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

①適用される主な環境関連法等の遵守状況の確認及び評価
環境管理責任者により問題ないことを確認した。

②違反・訴訟等

2019年度において環境関連の違反、訴訟等は過去3年間ありません
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去ありません。

VII 代表者による全体評価と見直しの結果

2019年度は二酸化炭素排出量を低減させる事が出来ませんでした。

特にで特需品の生産量増加に伴い設備稼働が増加して電力使用量が増えているのが現状です。

また、水使用量が増加した原因は、工場内にウォーターサーバーを2台設置して、夏場の水分補給を自動販売機の飲料ではなくウォーターサーバーから水分補給をするようになり増加したものと考えられます。

それに伴い、ペットボトルの購入、持ち込みが減少した結果だと思いますが、一般ごみの量が減少しました。また、仕入部材の過剰梱包(養生)は少しずつですがメーカーサイドも協力してくれて少なくなってきました。引き続き継続していきます。

全員参加の活動として「5S改善活動」「安全衛生活動」を3年前より行ってきています。その結果、社員各自が責任を持って行動する習慣がついてきたのが仕事上にも影響してきていると思いますので引き続き推進し、従業員の意識を更に高めみんなで安全に作業が出来る環境を作っていきます。

以上